



★★ 学校教育目標 ★★ 自分のよさを知り、仲間とともに最後まで粘り強く取り組む子を育てる



めざす子どもの姿

- ☆ 進んで学び、よく考える子
- ☆ 進んで助け合う、思いやりのある子
- ☆ 進んで体をきたえる、元気な子

めざす学校の姿

- ☆ 学び合いを大切に、確かな学力を育む学校
- ☆ 互いの良さを認め合う、人権感覚あふれる学校
- ☆ 保護者・地域とともにある学校



I 確かな学力を育てる(新教育プログラム 1・2・3)

①基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ◎少数授業の充実(問題解決的な学習の推進)
- ◎学習規律の定着・家庭学習の習慣化
- ◎朝の帯授業等を活用した学力の定着(全国学調実施・分析)

②思考力、判断力、表現力の向上

- ◎言語活動の充実と読解力・表現力を高める教育活動の推進
- ◎学校の特色を生かした国際理解・英語での学習活動の推進

③汎用的な資質・能力の育成

- ◎ICT教育の充実(タブレットを活用した協働的な学び)
- ◎自分なりの納得解を求める意欲を高める学習活動の推進
- ◎読書活動の充実
(朝読、読み聞かせ、司書と連携した環境整備、読書「習慣」)

II こころとからだを育てる(新教育プログラム 4)

①学びに向かう力・人間性の育成

- ◎自己肯定感の向上
- ◎系統的な人権教育の実施(幼小中連携;人権フォーラム)
- ◎多様性を尊重するなかまづくりの推進(QU調査活用)
- ◎いじめ調査の実施(年3回)、教育相談
- ◎道徳教育の充実

②進んで運動に親しみ体力向上を図る活動の推進

- ◎体育の授業や体育的行事、活動、体を動かす遊びの充実
(全国体力運動能力運動習慣等調査等の実施及び分析)

③基本的生活態度の育成、基本的生活習慣の定着

- ◎規範意識の修得
重点五項目(あいさつ・ベル席・名札着用・廊下歩行・トイレマナー)
- ◎健康・安全意識の向上(生活リズム、防災教育、食育)
- ◎学校保健委員会の実施

III 夢と志を育てる(新教育プログラム 5・6)

②コミュニケーション能力の向上

- ◎キャリアパスポートの活用
- ◎自然教室や地域見学等での体験活動

③地域の人・文化や自然とのふれあい学習活動の推進

- ◎系統的な地域連携の学習体験・文化体験

≪ 全ての子どもを伸ばす学校 ≫

①校内研修の充実

- ◎組織的・継続的に取り組む授業改善
- ◎協働的な学びを生み出す思考力・表現力向上のための言語活動の充実
- ◎問いを持ち続ける児童育成を目指した問題解決能力を高める授業づくり

②教科担任制を生かした専門的な指導・深い子ども理解

- ◎児童に有効な授業づくり、学びの場づくり

③特別支援教育の充実

- ◎組織的な支援体制(生徒指導の視点を持った特別支援委員会の確立)
- ◎一人ひとりの教育的ニーズに応じた途切れない支援
- ◎きめ細かな教育相談、関係機関との連携
- ◎個に応じた指導(個別最適な学びの実現)

④学びの一体化での授業研究

- ◎小中連携人権フォーラム、小中乗り入れ授業、保幼小中の授業公開

≪ 学校教育力の向上 ≫

①「チーム学校」としての組織力強化(地域に開かれた学校づくり)

- ◎コミュニティスクールによる学校運営の充実
運営協議会5回開催(授業参観等)・地域関係者との連携協力
- ◎地域教育力の活用
(しろやま倶楽部、いきいきサロン、図書支援どんぐりの会、クラブ地域先生、地域子ども教室)
- ◎関係機関・専門家との積極的な連携による協議

②家庭・地域・学校の協働の推進

- ◎H&S(通信)やホームページによる発信、学校公開等を工夫して完全実施
- ◎PTA活動との連携・充実
- ◎「子どもを守る安全パトロール隊」との連携
- ◎地区人権教育への参画・推進

③働きやすい職場環境の充実

- ◎総勤務時間の縮減(定時退校日、ノー会議デー、ワークライフバランス)